



Life with Green Technology

2019年5月期第1四半期 決算説明資料

2018年10月4日

 三協立山株式会社

2019年5月期第1四半期 決算の概要

2019年5月期 第1四半期 業績

売上高

793 億円

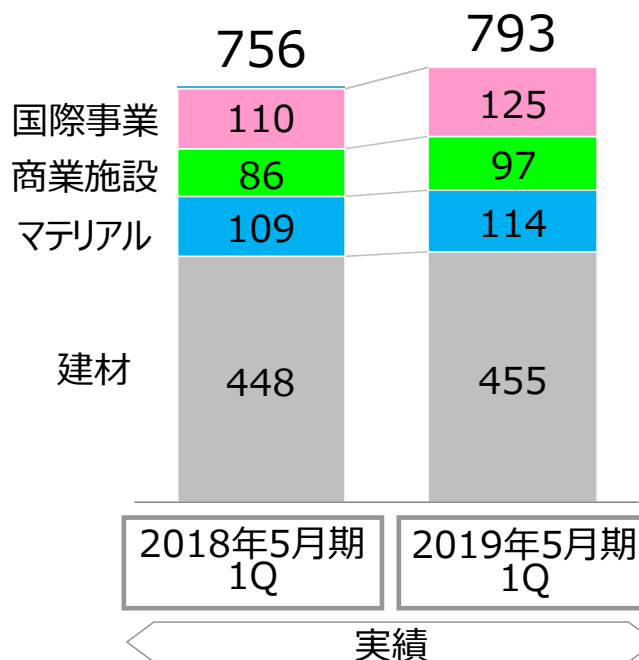
前年同期比 +37 億円
(+4.9%)

営業利益

▲ 6 億円

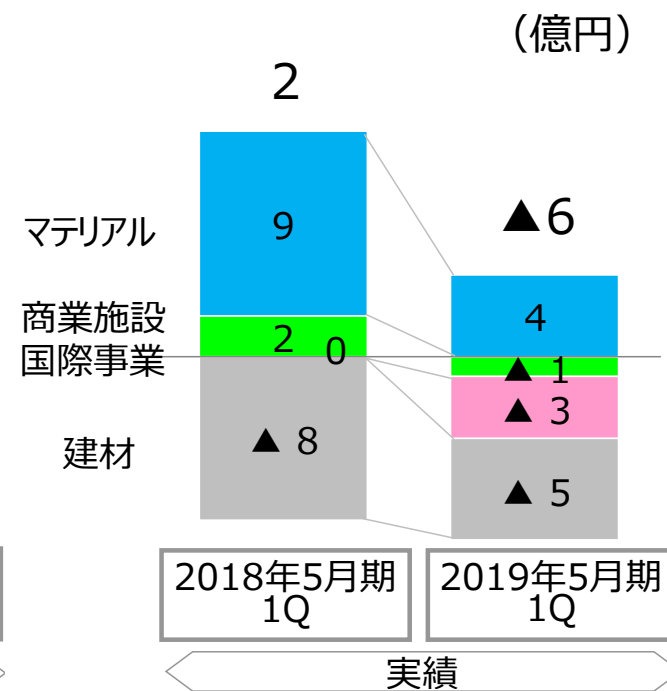
前年同期比 ▲ 9 億円
(-)

売上高



※金額は億円未満切捨て表示

営業利益



【売上高】

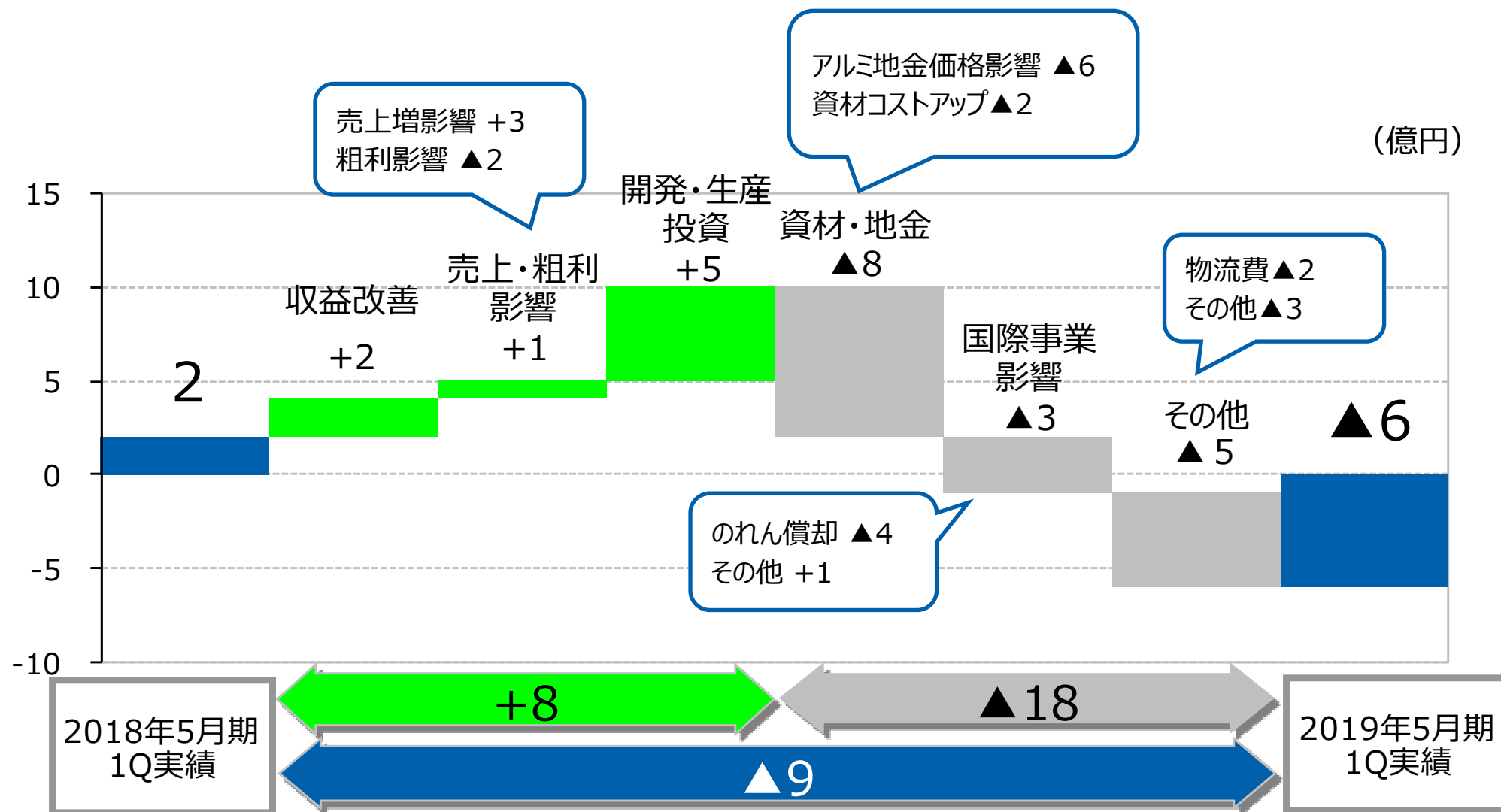
- ・ 4 事業全てで増収

【営業利益】

- ・ 建材事業の利益が改善
- ・ マテリアル事業、商業施設事業、国際事業が減益

前年同期比 営業利益 増減要因

Life with Green Technology



※金額は億円未満切捨て表示

【 ご参考資料 】

	2016年度	2017年度	2018年度
【建材事業（住宅）指標】 新設住宅着工戸数(4月-6月)	24.7万戸 (4.9%増)	25.0万戸 (1.1%増)	24.5万戸 (2.0%減)
新設住宅着工戸数 [持家](4月-6月)	7.4万戸 (2.1%増)	7.4万戸 (0.5%減)	7.2万戸 (2.5%減)
新設住宅着工戸数 [貸家](4月-6月)	10.5万戸 (11.0%増)	10.5万戸 (0.3%増)	10.1万戸 (3.5%減)
【建材事業（ビル）指標】 非木造建築物着工床面積(4月-6月)	20,667千㎡ (0.5%減)	21,043千㎡ (1.8%増)	19,939千㎡ (5.2%減)
【マテリアル事業指標】 アルミ型材押出重量[サッシ・ドア除く] (4月-6月)	83.7千 t (4.3%増)	90.5千 t (8.1%増)	90.2千 t (0.4%減)
【商業施設事業指標】 建築着工棟数[店舗] (4月-6月)	2,177棟 (8.3%減)	2,045棟 (6.1%減)	2,001棟 (2.2%減)
アルミ地金価格 [日本経済新聞より] (4月-6月平均)	223.3円/kg (25.3%減)	269.2円/kg (20.6%増)	309.7円/kg (15.0%増)

() は前年同期比

※事業環境の前年同期比は、4～6月累計の対比

2019年5月期 第1四半期 業績

売上高

455 億円

前年同期比 +6 億円
(+1.5%)

セグメント損失

▲ 5 億円

前年同期比 +3 億円
(-)

※金額は億円未満切捨て表示

事業環境

新設住宅着工戸数
前年同期比

全体 -2.0%
持家 -2.5%

出典 国土交通省 建築着工統計調査報告

非木造建築物着工床面積

前年同期比 -5.2%

出典 国土交通省 建築着工統計調査報告

厳しい
競合環境

アルミ地金価格 (日本経済新聞)

前年同期比 +15.0%

出典 日本アルミニウム協会統計

原材料
コスト上昇

ビル用アルミサッシ
販売重量

前年同期比 +4.8%

出典 経済産業省 生産動態統計

業績要因

【売上高影響】

- ・ビル分野の大型物件増、エクステリア分野の売上増

【利益影響】

- ・アルミ地金価格の上昇影響
- ・一部商品の価格改定、生産部門の収益改善などの推進

2019年5月期 第1四半期 業績

売上高

114 億円

前年同期比 **+4 億円**
(+4.3%)

セグメント利益

4 億円

前年同期比 **▲ 4 億円**
(-50.7%)

事業環境

国内アルミ型材押出重量
(サッシ・ドアを除く)

前年同期比 **-0.4%**

出典 日本アルミニウム協会統計

電気機械・輸
送用機械等
の需要減少

国内アルミ型材押出重量
(一般機械)

前年同期比 **+10.2%**

出典 日本アルミニウム協会統計

一般機械
の需要増加

業績要因

【売上高影響】

- ・アルミ地金市況に連動する売上の増加
- ・型材市場での在庫調整による顧客の発注量減少

【利益影響】

- ・型材市場での在庫調整による顧客の発注量減少に伴う競合環境

※金額は億円未満切捨て表示

2019年5月期
第1四半期 業績

売上高

97 億円

前年同期比 +10 億円
(+12.4%)

セグメント損失

▲ 1 億円

前年同期比 ▲ 3 億円
(-)

※金額は億円未満切捨て表示

事業環境

建築着工棟数（店舗）

前年同期比 -2.2%

出典 国土交通省 建築着工統計調査報告

新設店舗
の減少

小売業販売額（全体）

前年同期比 +1.3%

出典 経済産業省 商業動態統計調査

改装投資
の増加

業績要因

【売上高影響】

・コクヨ(株)のストア事業承継による売上増

【利益影響】

・事業承継に係る販管費、物流費などの増加

2019年5月期
第1四半期 業績

売上高

125 億円

前年同期比 +14 億円
(+13.4%)

セグメント損失

▲ 3 億円

前年同期比 ▲ 3 億円
(-)

※金額は億円未満切捨て表示

事業環境

GDP成長率 (年率)

ユーロ圏 +2.3%

ASEAN5[※] +5.3%

出典 IMF : World Economic Outlook
(Apr 2018)

経済成長

※ASEAN5は、Indonesia, Malaysia,
Philippines, Thailand, Vietnamの合計

欧州のアルミ押出材需要

前年同期比 +3.0%

(4~6月累計対比)

出典 米中欧のアルミ産業の動向 2018年8月
日本アルミニウム協会

アルミ需要
の増加

ASEAN 5[※]の自動車
販売台数

前年同期比 +7.7%

(4~6月累計対比)

出典 ASEAN AUTOMOTIVE FEDERATION

業績要因

【売上高影響】

- ・欧州での輸送分野を中心とした売上増、為替影響などによる増収

【利益影響】

- ・タイ子会社の条件付取得対価支払が確定し、のれんを追加認識したことにより過年度分ののれん償却が発生

【 指標実績 】

		2018年5月期 1Q 実績	2019年5月期 1Q 実績	2019年5月期 前提（通期）
アルミ地金価格 (日本経済新聞)		269.2/kg	309.7円/kg	300円/kg
為替	ドル	111.1円	109.1円	105円
	ユーロ	122.3円	130.0円	130円
	バーツ	3.2円	3.4円	3.2円
	元	16.2円	17.1円	17円

※アルミ地金価格実績は2018年4月から2018年6月の平均値

※為替実績は期中平均レート

【本資料に関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、三協立山株式会社及び連結子会社（以下、総称して「三協立山グループ」という）の計画、戦略、業績などの将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、現時点での入手可能な情報から得られた三協立山グループの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により三協立山グループの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、三協立山グループが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えるリスク、不確実性及びその他の要因としては、三協立山グループの事業領域を取り巻く経済情勢、三協立山グループの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化、為替相場、アルミ地金等の価格変動が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

本資料の複製・転載はお断りします。